

急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろいろ差之があるから面白い
いろいろ人がいるから楽しい

No. 625

2022年7月 **月刊**

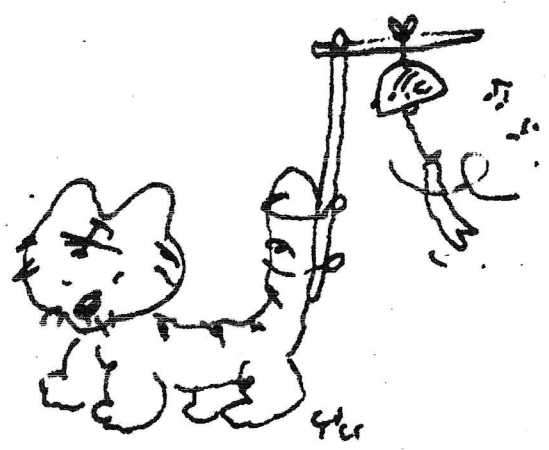
編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- あの山の向こうに (15%) 2 ^{№21}
- ロシアによるウクライナ侵攻について 5
- 「資本主義の方程式」など 7
- 山仕事(4月「お茶摘みパーティ」) 11
- 『昆虫と害虫』 16
- お便りから 21
- け・い・じ・ば・ん 26



もうよいお持込を

月 日 現在の
会員数 名

この見本誌をみて新たに
「読んでみようか」という方は、
年会費 4,000円を
郵便局で 00100-2-20630
「雑報友の会」
へ 掛い込んで下さい。

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は

海のいきもの
シリーズ第6集

山仕事(4月、大平“お茶摘みパーティ”)

新緑どきのお茶摘みパーティは、正士さんにとって年間通じて最大のイベント。コロナ禍で2年続けて流れたが、今年はやることになった。

4月28日(木、くし)。天浜線敷地駅で正士、久米、若林さんに迎えられ、買物のあと常森の茶園の草とり。茶樹の上にはのびたワラビなどの草、茶葉にかさぶつる草をとり除く。ぼくらが帰ったあと、正士さんと啓史さんが新茶の刈りとりをするが、その障害となるつる草などを除去したのだ。

(夕食) 刺し身(クロダイ、アジ)、ジャガイロのチーズ焼き、小松菜の明太子炒め、春キャベツのオリーブみそ和え、シラス汁と大根おろし、ミョウガゆで、新夕マサのライス、エシャレット

ふとほろ酔いの後、おそばの段になって異変が起きた。1枚目のそばを噛んだとき正士さんの足どりがおかいことに、久米さんと若林さんが気付いた。さくと、厨房でそばを打っているとき、一度倒れたという。低血糖のようだ。そばを打つ前に皆と一杯やっているが、たべているのはGI値(グリセミック・インデックスと言ったっけ。ぼくはおかみと付き合っていて知ったが、たべものによって血糖値の上がり方が異なる指数)が低いものが多い。低血糖になったのだらう。急いで内田美智子さんから送られたお饅頭をたべて事無さを得た。

さんなわけでも、いつもは3回に分けて運ばれるおそばだが、この夜は1回きり。

猫の手のメンバーは感じていると思うが、近頃、正士さんは疲れがたまっている。これからは山仕事を続けるためにも、なるべく正士さんには無理をさせないようにしたい。作業中も正士さんには多く休んでもらうとか、早く上がってもらうようにしたい。

そして、いつも夜遅く帰ってそばを打っているが、できれば作業と早上がりして夕食前にそばを打ってもらうと、と思う。夕食の支度とかち合らのが、気がかりだ。

(今回、写真が多いので文章と合わないが、下は翌29日のもの)



庭の草刈りをする山崎さん



庭で山菜を採る久米さん



川へ下りる道の整備

4月29日(金)、くしりのち雨。

明日のパーティに備えて、庭や道路脇の草刈り。それが済むと、崖下の川に下りていく道の整備。幅30~50cm、踏み跡に毛が生えたていどの道だが、傘が崩れた土砂や落ち葉をとり除き、滑りやすいところはステップを刻む。ほぼ下まできたところで、かなり大きい枝が垂れ下がっている。それを引きずりおろそうと力を入れると、思いのほか簡単に落ち、ぼくは仰向けに川原に落ちてしまった。幸いケガはなかったが、見えていた山ちゃん、「浴びせ倒して枯木山の勝ちイ...」、落ち方がうまく目に見えるケガはないが、右肩を打ってしばらくはテニスのサーブを打つときに違和感があった。雨が落ちてきたが、小粒雨でいい。家の近く東重れの茶園で明日のように草とり。

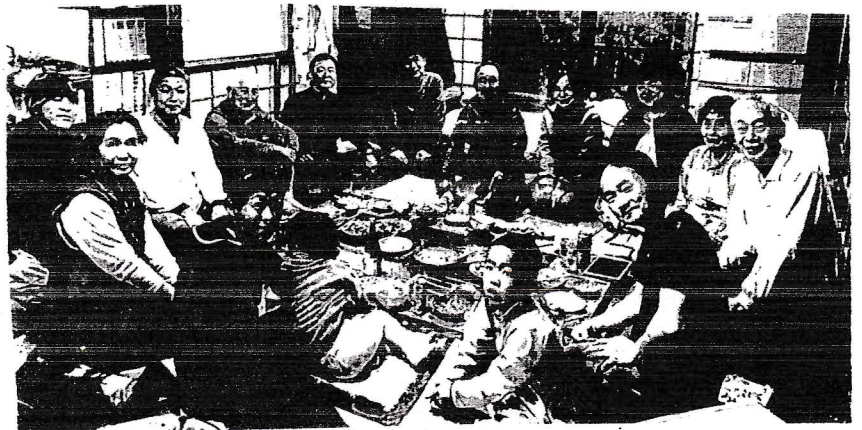
(昼食) 皿うどん、オリーブ油とみそサラダ、野菜スープ。

午後、シェフの杉浦さん一家と千葉ちゃん(結婚して野口ろ江となったが、誰も野口さんとは呼ばない)が見える。

手分けして明日の準備にかかると。正士さんは参加者名簿作りなどで、昨夜は2時間ほどしか眠れなかったという。杉浦さんと康江、久米さんは買い物、ぼくらは明日の食材とするワラビとタケノコとり。どちらも量が少なく、明日、来客の分も残しておかねば。

「かがり火」編集部の松林さん、伊豆・下田市の土屋智紀さんもスタッフに加わる。夕食は10数名が大きな輪になり、賑やかに。

豚バラ大根煮、フキ炒め、ターサイの干しエビ炒め、タケノコのバター醤油炒め、白滝と春巻の明太炒め、ポテトサラダ、熊谷道子さんおちのとりと野菜炒め、それに杉浦さんおちのイシガシの刺身、カラシ、コンソメ。



杉浦さんのお子さんは対蹠的だ。お見せの荒石(たかひろ)君は甘え坊。妹のはるこ(玄空。ぼく読めない)ちゃんも人なつこくとも怖じせず活発だ。何年前、NHK-TVで宮崎吾郎監督の「山賊の娘ローニヤ」というアニメがあった。そのローニヤさっくり、コケテッシュでかわいく、希来男どもを騒がせそうだ。

この夜、康江さんと杉浦母子は久米さん宅へ。昨日はぼく一人だった母屋へ、英ちゃん、山ちゃんと三人で寝る。



原田さん 松林さん パラさん
ぼく

4月30日(土)、くしり。予報は晴れたったが

それでもよしとするか。

康江、スズキさんは杉浦さんと厨子へ。原田、山崎、若林さんは場内さまさまな役割に従事。ほくは、バラさん(神原幸雄さん)、松林さんと受け付け係(前ページ写真)いつも一緒に受け付けをしてくれた水島加寿代さんは、介護から休み。

夕時、続々と集まってくる。ほくは時節柄40〜50人と踏んだが、強気の正士さんは100人近くを見込んだ。結果は、正士さんの予測に近かったようだ。2年流れて、皆さんの希望感が強かったのだろう。

尾上美智子さんが、軽トラックに豚バラブロック焼き肉用の道具を積み見る。終了後、これは正士さんに寄贈された。

山中圭子さんも、浜松から友人と一緒に見えた。

受け付けも検温、ワクチン接種の確認、会場収納、後日送付する土産の茶の希望品(やぶきた、石栗、さやまかぶり)確認と、けっこう忙しい。

9:30、正士さんの開会挨拶。受け付けは少し離れているので聴きとりにくい。

その後、参加者は思いおもしろい山菜採りに出発。



タケノコ掘り

お茶つみ

旁ら、野中佳美さんのそば打ちが始まる。野中さんは静岡県では最高の「そば打ち四段」。となりでは餅搗きが始まる。以前は一本杵によるぼくの独壇場だったが、今では英ちゃん(英ちゃん)の細い杵による搗きオノに変ってしまった。庭では「煎炒り茶」が。



そば打ち



もちつき



かまひり茶

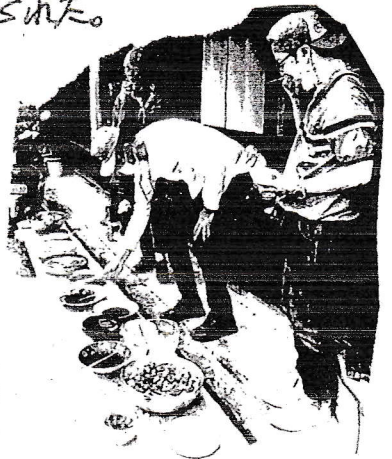
昼食に移る。感染対策として、いろいろな方法が考られた。

以前は竹で作った食器と箸は、紙皿と割り箸に替わった。たべ物は軒下に並べ、各自がとりに行く方式となった。細長いテーブルを囲んでたべていたのが、三々五々、グループごとに庭に離れて陳列し、たべるようにした。なみには立ってたべる人たちも。

座敷では、久米さんと西澤さん(若林さんの友人)が中心になって天ぷらを揚げ、庭では三宅伊都子さんと山ちゃんが炭火で豚バラのかたまりを焼いた。

その頃「かがり火」発行人の菅原 欽一さんが到着。

写真、左から三宅 欽一、溝口、菅原、山崎の皆さん。



立ってたべる人も

前夜から準備を始めたこの日のメニューは。

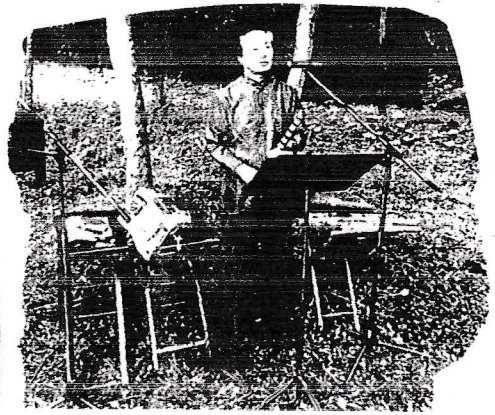
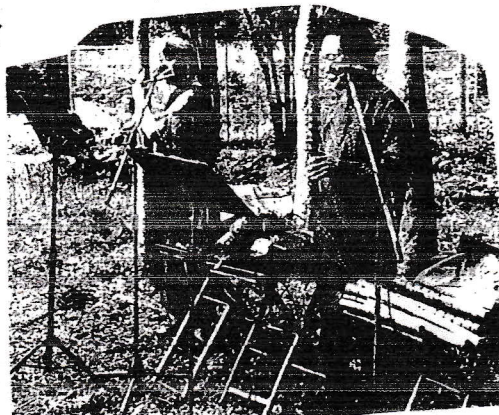
インジ鍋、アサリの酒蒸し、季節の煮物、山菜の天ぷら、タケノコ丸焼き(深谷孝さん担当)、豚バラブロック焼き、セリのお浸し、そば、餅、窯炒り茶、フルーツヨーグルトなど。

14時、恒例の演奏会。今年はおわさみ ^{おわさみ} 籠巻修己さんと竹笛の越智麻子さん。

ポップミュージックからクラシックまで幅広い演奏を聴かせてくれた。

16時終了。後片付けと駐車場にした広場の地均し。

一段落して座敷で二次会。



5月1日(日)雨。雨のため「山福」で作業靴などを購入。カレーライスでたべて帰宅。

◆ 鈴木正士さんから。

4/28~5/1 にかけて猫の手の活動ありがとうございました。4月はお茶摘みのイベントの準備から当日の接待、それに片付けまで、猫の手の皆さんに何から何までお世話になり無事開催できました。大変だったと思います。やることばかりで私一人ではどうにもならず途方に暮れていたのですが本当に助かりました。ありがとうございました。

お茶摘みツアーは新型コロナで2年間開催できず、今年もどうしようか迷いましたが、蔓延防止等の重点措置が解除され、猫の手の皆様の後押しもあり、参加くださる皆様のご尊顔を拝したいという強い思いから、少し強行でしたが開催させていただきました。

準備もままならない中、前々日から猫の手クラブの皆様や応援してくださる皆様が駆け付けてくださり、お料理の準備から会場の設営までしていただきやっと開催できました。陰で支えてくださった皆様に感謝です。

4/28 いつもの様に元気村と遠鉄ストアにて活動期間内の食材の買物

自宅に着き農作業の準備、そして、5月に入ってすぐにお茶刈りができるよう常森と東ダレの茶園のツル取りと草刈りをやっていただきました。

4/29 午前中、会場の前庭や自宅周辺の草刈り、それに会場の設営、散策道の整備

午後は、買物リストの作成、それをもとに手分けでイベント当日の食材から資材の調達、買物をさせていただきました。

4/30 少し早起きをして受付など当日の受け入れ準備、そして、それぞれ持ち場に散

っていただき、受付、山菜やタケノコ堀等の会場案内、焼き肉、天ぷら、餅つき、ソバ打ち、お料理の配膳などの段取りや実務をこなしていただきました。

お茶摘みツアーイベント終了・解散後はゲストルームでの2次会で盛り上がりました。

5/1 イベントの後始末、片付けをさせていただきました。

このお茶摘みのイベントが開催できたのも参加くださった皆様と猫の手の皆様のお力があってこそです。感謝です。

それからこのイベントに当りそれぞれの皆様から沢山の差入を頂きました。みんなで美味しくいただきました。本当にありがとうございました。

私は、厚正さんに比べればまだ若いのですが、年を重ねるうちに忘れ物が多く、パソコンの不調で不手際が多くコピーした写真データが無くなり何回もやり直すなど仕事が遅くなったうえに余分な仕事ばかりしていて肝心な仕事ができず、写真やメッセージをお送りするのが大幅に遅れ、厚正さんには大変ご迷惑をおかけしてしまいました。辛抱強く待っていただいたことにも感謝です。ありがとうございました。